

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2013 助成の概要と推薦理由

助成番号 13-2-1

プロジェクト名 小児病棟/小児センター 絵本カーニバル(2)
～定期継続型プログラムの試行

団体名 特定非営利活動法人絵本カーニバル

代表者名 目黒 實

所在地 東京都

助成額 219万円

助成期間 2013年7月1日～2014年3月31日

設立年 1997年

URL <http://www.ehoncarnival.com>



この団体は、絵本・アート・音楽・映像などの文化芸術活動を通じて、子どもの心と身体、感性と感覚の発達を促すことを目指し、全国各地で体験型絵本イベントや小児病棟などにおける活動を展開している。

小児病棟に「絵本カーニバル」がやってくると、色鮮やかでぬくもりのある空間が一気に生まれる。プレイルームやエレベーターホールなどに200～300冊の絵本が表紙を向けてならび、小さな椅子やテーブルなども置かれる。子どもたちは自由に本を手に取り、お母さんと一緒に読んでお話もできるし、ベッドにも持って行く。カーニバル期間中には、絵本作家や音楽療法士による音楽や楽器を楽しむワークショップなども並行して行われる。絵本を通じたコミュニケーションを提案することで、制約の多い病棟の生活にこどもの日常的な時間を生み出し、子どもたちや家族、医療関係者が絵本のある空間を楽しむことでQOLが向上し、病気や治療に向かう新たな力につながることを目指している。

助成1年目では、大都市に集中しがちな活動を、島根大学附属病院と山梨大学医学部附属病院で開催し、子どもたちや家族とともに医療関係者からも好評を得た。また新たに病院の近くのNPOや図書館などとの連携にも取り組み、活動の幅を広げた。

今回の助成では、引き続き大都市以外の病院を新規開拓するとともに、昨年実施した病院において定期的・継続的な実施にチャレンジする。

本プロジェクトは関係者とのコミュニケーションも丁寧に行われており、着実に積み重ねられている。訪問希望も増えている中で、今後さらなる展開を行うために、個々の病院の状況に合わせた活動のバリエーションを生み出し、また病院内のボランティア・グループや地域のNPOとの連携が次につながるような展開を期待して助成した。